

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年4月7日 (2011.4.7)

【公表番号】特表2010-526906(P2010-526906A)

【公表日】平成22年8月5日 (2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-507494(P2010-507494)

【国際特許分類】

C 0 8 L 71/03 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 5/14 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 71/03

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 5/14

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月15日 (2011.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エピクロロヒドリン組成物を含み、かつフルオロエラストマー組成物を実質的に含まないエラストマー組成物と；

強化等級カーボンブラック及びシリカを含む充填剤材料と；

過酸化物硬化剤と、を含む組成物。

【請求項 2】

(a) エピクロロヒドリン組成物を含み、かつフルオロエラストマー組成物を実質的に含まない、エラストマー組成物を提供する工程と；

(b) 強化等級カーボンブラックを含む充填剤材料を提供する工程と；

(c) 過酸化物硬化剤を提供する工程と；

(d) 前記エラストマー組成物、前記充填剤材料、及び前記過酸化物硬化剤を混合して、ブレンド組成物を形成する工程と、

(e) 前記ブレンド組成物を硬化させて、管状常温収縮性材料を形成する工程と；

(f) 管状常温収縮性材料の内側に取り外し可能コアを組み込んで、前記常温収縮性材料を膨張状態に支持する工程と、を含む使用方法。

【請求項 3】

エピクロロヒドリン組成物を含み、かつフルオロエラストマー組成物を実質的に含まないエラストマー組成物と；

強化等級カーボンブラックを含む充填剤材料と；

過酸化物硬化剤と、

を含む管状常温収縮性材料を含む製造物品。